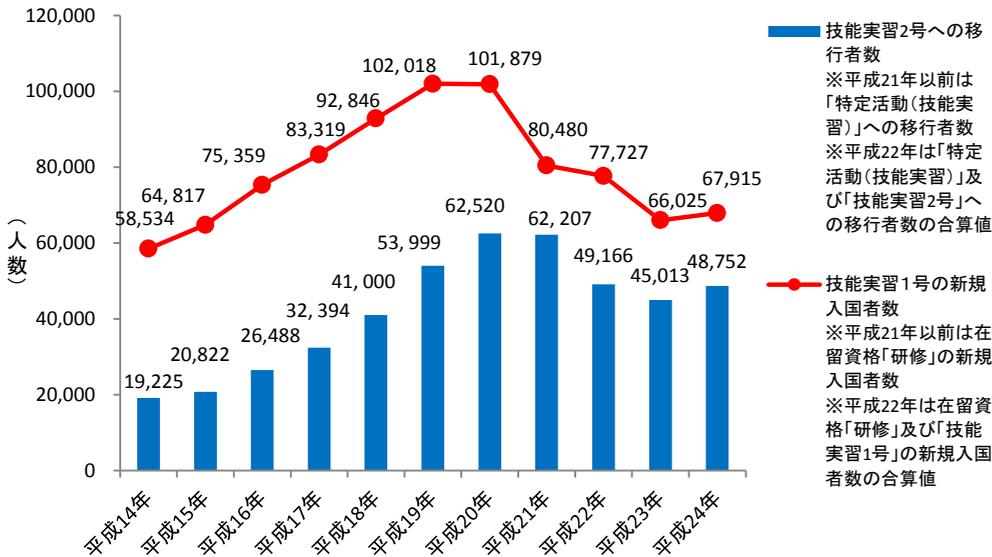


# 技能実習制度の現状

1 技能実習1号の新規入国者数、技能実習2号への移行者数は、東日本大震災の影響及び経済情勢の悪化により減少している。  
(平成24年:「技能実習1号」入国者約6万8千人、「技能実習2号」への移行者約4万9千人)

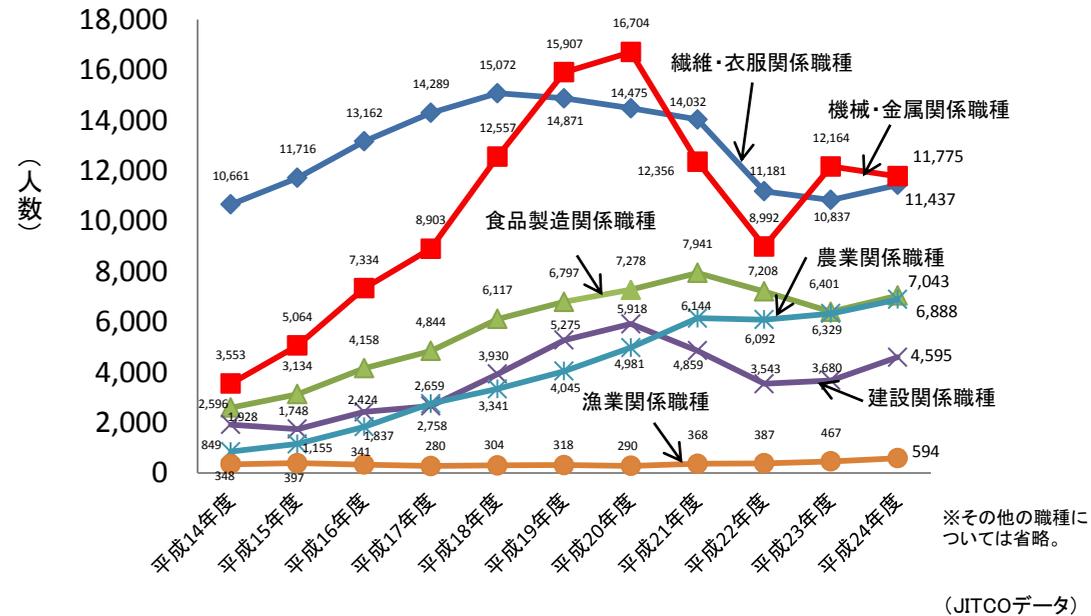
## 平成24年末の技能実習生の数は、151,482人

※「技能実習1号」及び「技能実習2号」の在留資格による外国人登録者数の合計



(法務省データ)

3 全体で68職種あり、受入人数の多い職種は、  
①機械・金属関係 ②繊維・衣服関係 ③食品製造関係

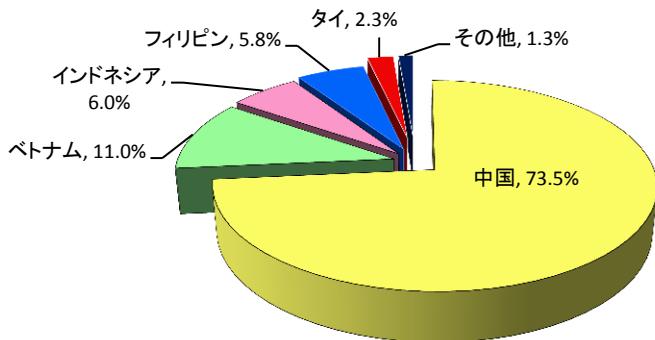


※その他の職種については省略。

(JITCOデータ)

2 受入人数の多い国は、①中国 ②ベトナム ③インドネシア

平成24年 在留資格「技能実習」登録者国籍別構成比(%)

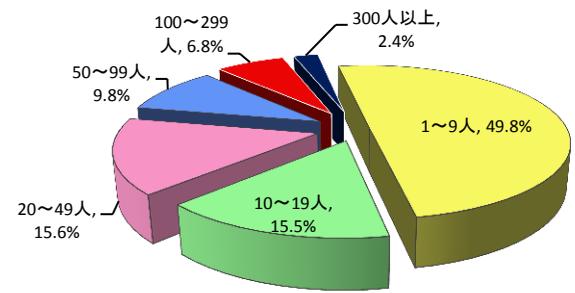
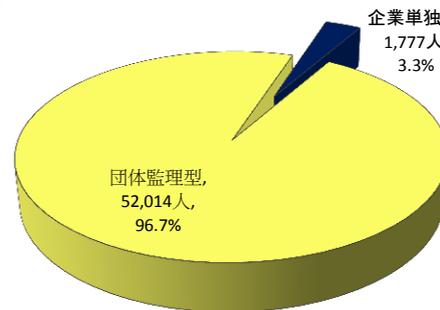


(法務省データ)

4 団体監理型の受入れが96.7%  
実習実施機関の半数以上が、従業員数19人以下の零細企業

平成24年度 技能実習移行申請者数受入機関別構成比

平成24年度 技能実習実施機関従業員規模別構成比



(JITCOデータ)

※ 技能実習制度については、見直しが行われ、現行制度は改正入管法の施行に伴い、平成22年7月1日から施行されている。JITCOデータの平成21年度までの数は、旧制度において「特定活動(技能実習)」への移行申請者数、平成22年度以降の数は「技能実習2号」への移行申請者数に基づいている。